

# クリニックレター 2014.May

〒663-8113 西宮市甲子園口 2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

## 今月のミニ知識：OAS(口腔アレルギー症候群)について

今年は花粉の飛散量はかなり少ない、という予報でしたが、4月中旬に大量のヒノキ花粉が襲来しました。花粉症の症状という、鼻水、くしゃみ、目のかゆみ、のどの違和感、などが代表的ですが、人によっては、皮膚の痒みや喘息様の症状が出たり、副鼻腔炎（蓄膿症）が悪化したりすることもあります。また、全身倦怠感や頭痛などを訴える方もおられます。

今回、知っていただきたいのは、OAS（口腔アレルギー症候群）という病気です。OASは、近年、患者数が著しく増えた疾患で、その特徴としては、

- ① 一定の果物や野菜などを食べると、口の中がイガイガしたりかゆくなったり、症状が重い場合は顔が腫れたり喘息様症状が出たりします。
- ② 原因となる食物としては、バラ科を中心とした果物（リンゴ・モモ・ナシ・イチゴ・ウメ・チェリーなど）や野菜（トマト・セロリ・大豆など）などがあげられます。
- ③ カバノキ科やハンノキ属（阪神間でよくみられるヤシャブシが代表）の花粉にアレルギーを持つ人に多く発症します。これらの花粉と原因物質の分子構造が似通っているためと言われています。
- ④ 花粉症の季節に、OAS症状が悪化することがあります。

これまで問題なく食べられていたものが、突然、口にするとイガイガするようになった、というような場合は、血液検査などで原因を特定し、これらの食べ物をなるべく控えるようにすることが必要です。

また、OASは春の花粉だけでなく、夏のイネ科や秋の雑草などの花粉症の方にもおこりやすいので、これらにアレルギーがある方は、マスク着用や洗濯物の室内干しなどの対策をしっかりとって、体内の抗体を増やさないようにすることもOAS発症の予防につながります。

## 脈診のこと

漢方の診察法の一つに「脈診」があります。脈診とは、患者さんの手首の橈骨動脈の速さ・強さや血管壁の硬さを探るもので、通常、左右の脈を比較します。

もちろん、脈の速さ(脈拍数)が左右で異なることはありませんが、主に右の脈は「気」左の脈は「血」の状態をあらわすとされており、左右で微妙にことなるのです。患者さんが緊張しているときは「弦脈」といって弓の弦(つる)を張ったような脈になりますし、体内に水分が停滞すると「緩脈」といって緩やかな脈になります。また、自分では気が付いていなくても体が疲れていると、「軟」あるいは「無力」という脈になることが多いのです。脈の状態はおよそ28種類に分類されますが、脈診を精確におこなうことができるかどうか、漢方医のスキルの一つと言えます。

## 人間ドックのご紹介

昨年5月にオープンしたグランフロント大阪・北館6階、ナレッジキャピタルにある、

**淀川キリスト教病院附属うめきたクリニック (YCHメディカルサロン)**をご紹介します。

YCHでは、一般的な人間ドックだけでなく、利用者様のニーズに応じた、「抗疲労ドック」「ブレインドック」「メンズコース」「レディースコース」「漢方ウエルエイジングドック」「イブニングコース」などのメニューがあります。

詳細についてお知りになりたい方は、当院スタッフまでお声をおかけください。

なお、当院 西本院長が、「漢方ウエルエイジングドック」の担当を兼務しているため、当院からのご紹介の場合は、特別料金での受診が可能です。

